されました。

に反映される

など合意形成

の

取組

み

備

の

方

向 性

をまとめ、

結果、

今年度から紀の川護岸整備が始まります!

の

Щ

沿

l1

区域は、

家屋が連担し

Ш

لح

の

働で取組んできた内容

の川護岸整備に関する説明会

に

お

61

て

み方針

が

示さ

れ

ま

L

こ

の

の事を受け、

が主体となり

積

極的な意見交換により

1)

の

方向性をまとめる事を目的に

もと紀

の

Ш

水辺

の会」

が組織されまし

の

中で、

樣

方向性

を話.

U

合っ

て

L١

کے

L

た協

働

で

Ō

取

組

画段階

から地

域

ど行政

が連携

護岸整:

備

0

びつきが非常に

強

しし

地

域であ

ることか

平成 20 年 5 月 NO.54



発 行 橋 本 市 3 市街地開発事務 235

受け、 今秋より、 に着手する運びとなりました。 との姿勢に立ち、 する事を目指 紀 本号では、 の 地 Ш 域 護岸整備 %に根ざ-紀の川護岸整備 協働で取組 て事業を円滑に し が れまで地域と行政 た 国 より の事業で行 んできた内容、 良い 低水部) 推 Ш 進 わ れ ij る事 の が て に

による取り組みにより基本計画が策定され、 スケジュー ル等につい てお伝えし 施工 協 後

々な意見交換を行なう等に 実施設計 が実践 後 住 は 民 の

紀の川護岸の関係者への説明の流れ H18.8.28(国より説明):【第1回】 ・事業の目的 ・意見反映の措置 ・今後の進め方 H18.9.27:【第2回】 ・世話人会の発足 ・基本情報の共有 H18.12.23:【第3回】 ・計画素案の提示 ・実施区間の評価 (アンケート調査の実施) H19.2.24:【第4回】 ・アンケート調査の意見集約、報告 H19.3.25:【第5回】 ・基本計画(案)の説明 H19.12.12:【第6回】 ・基本計画の策定 H20.4.26【工事説明会】 ・計画内容、工事内容の説明 ・区画整理のスケジュール

紀の川護岸の断面イメージ 将来の河川区域 将来の宅地 低水護岸部 高水護岸部 高水護岸 ・対岸からの眺めに配慮 ・特徴ある資源(石積)と融和した修景 建物 小段 ・川沿いの散策路 堤防 低水護岸 ・緩勾配化 ・親水性 多孔質化により緑化が図られ、 Harry Market Lymboy 自然に近い環境が保全されます 現在の境界線 河川との境界線 ・整理後の宅地形状や護岸の 連続性に配慮し、直線化を図る



紀の川沿い区域の今後のスケジュール

紀の川沿い区域の街区調整の流れ 街区調 整 位話 仮 仮 工建 仮 置し 仮 再換 、合 換 地 換 並い 計等 換 度修 地 びに 地 正 等よ 案 画 地 にり の 移 調 つ、 \odot の 指 い仮 提 て換 整い 定 調地 意 明: 示 て 整の 現在、次回の調整に向けて、調整作業を行っています。

紀の川沿い区域の次回街区調整につい

の位置や並びについて話し合いが行なわれ、この中で歴史的建物紀の川沿い区域の街区調整では、これまで関係者の皆さんと換地 (文化財)については保全する方向で調整が図られています。 これまで皆さんから出されたご意見について検討を行なっ まとまり次第、 街区調整を再開する予定です。 てお

今後の予定

平成21、22年度に行うこ との説明がありました。 紀の川護岸整備 画整理事業として 計 日に

は 指定と併せて河川整備 工事計画の説明、 合意形成、建物等移転 影響する物件の建物調査 本年度、 街区調整 仮換地

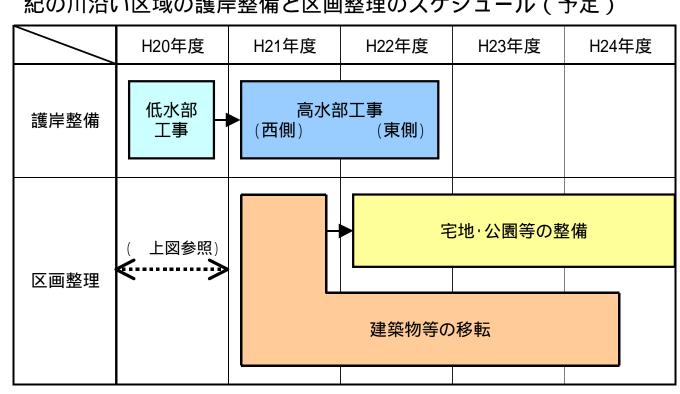
のスケジュー 護岸整備や建物等の移転 図りながら進めていく方 宅地・公園等の整備は、 ルと整合を

を実施します。

針です。

水部は今年度、高水部は は、平成20年4月26 工事説明会が行われ

紀の川沿い区域の護岸整備と区画整理のスケジュール(予定)



都市計画の変更に関する都 中計画案の縦覧について

について縦覧します。 紀の川護岸整備事業区域との整合を 図るため、 都市計画区域の変更

平 成 縦覧期間・意見書の提出 橋本市建設部市街地開発事務所 縦覧場所・意見書の提出先 20 年6月13日(金) から年 問い 合わせ 6月26日(木)まで